

ユニセフ兵庫ニュース  
**Wish**

世界の子どもたちのために

vol. **55**

2018年5月号



魚つりゲームをしながらユニセフの話をする子どもとボランティア（ユニセフのつどい）

CONTENTS

2-5 特集 EVENT REPORT  
第16回 **ユニセフのつどい**

別紙 ユニセフ ブルキナファソ スタディーツアー報告

6-7 **活動ファイル**  
2017年12月～2018年4月

8 **お知らせ**

## 特集 EVENT REPORT

第16回

# ユニセフ のつどい

Unicef Festival

世界のともだちと  
心をつなごう

子どもたちは私たちの未来。

さまざまな年代や立場の人々がつどい、  
講演会やワークショップ、ブースでの交流を通して  
これからの未来に必要なものを考えてみました。

そのイベントの様子を紹介します。

### Event Data イベントデータ

日時 2018年3月17日(土)

会場 コープこうべ生活文化センター(神戸市東灘区)

参加者 200人

ご支援  
ありがとう  
ございます!

## 募金贈呈式



参加団体(敬称略、順不同)

- ・伊藤ハム株式会社
- ・コープこうべ
- ・コープこうべユニオン
- ・自由ヶ丘高等学校
- ・神戸市立鷹取中学校

## プログラム

### 午前の部

- オープニング  
クロマチックハーモニカ演奏 竹内海人さん
- 講演会  
「子どもを誰ひとり取り残さない世界をめざして」  
ユニセフ東京事務所副代表 根本巳欧さん
- 募金贈呈式
- 各ブース紹介
- フリータイム 昼食&交流

### 午後の部

- コーラス  
神戸大学附属中等教育学校コーラス部
- ワークショップ「わくわくカフェ」  
若者からのメッセージ&グループトーク
- パフォーマンス  
クロマチックハーモニカ演奏 竹内海人さん
- クロージング  
兵庫県ユニセフ協会会長 黒木稔 あいさつ

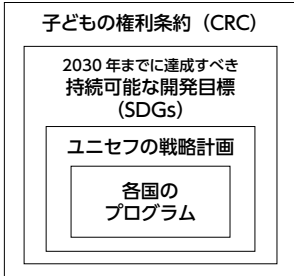
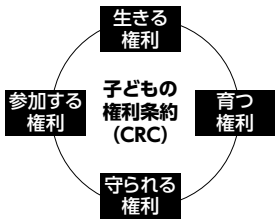
# TALK SHOW

## 1



### Profile プロフィール

ユニセフ東京事務所副代表  
ねもとみおう  
**根本 巳欧**さん  
東京大学法学部卒。米国シラキュース大学・マックスウェル・スクール大学院にて修士号取得。民間企業、日本ユニセフ協会を経て2004年にUNICEFへ。東京、シエラレオネ、モザンビーク、パレスチナ、レバノンの各UNICEF事務所、東アジア・太平洋地域事務所を経て現職。



### 子どもの権利条約 (CRC)

CRCは、世界中のすべての子どもたちが持っている「権利」について定めた条約です。戦争に巻き込まれてしまったり、防げる病気で命を失ってしまったり、つらい仕事で1日が終わってしまう……。生活、あるいは命そのものが危機にさらされている子どもたちがいます。

ユニセフは、そんな子どもたちをはじめ、この条約に書かれた子どもたちの権利を守るために活動しています。

### 開発支援と緊急支援

ユニセフは第二次世界大戦で傷ついたり子どもたちの緊急支援から始まりましたが、今は短期的な緊急支援や人道支援だけでなく長期的な開発支援、国づくりをサポートしています。

その折に、CRCとともに重要な

### 講演会

## 子どもを誰ひとり

## 残さない世界をめざして

—ユニセフの緊急支援と開発支援の連携—

人生における公平な機会はすべての子どもにも与えられるべきもの。講演では、ユニセフ活動について、3つの視点から現場での経験をもとにお話しいただきました。

### 公平性とパートナー

指針となるのが、「持続可能な開発目標 (SDGs)」です。SDGsには開発途上国や先進国を問わず、貧困・格差・気候変動などわたしたち自身が取り組むべき課題が17の目標として掲げられています。

近年緊急支援が増加傾向にあり、中東・アフリカでは紛争が、アジア地域では自然災害が多く、それぞれの地域に合った対応が必要です。ユニセフの国や地域の事務所は、CRCとSDGsをふまえ、それぞれの国の政府と話し合い具体的な戦略計画を立てます。

ユニセフでは、年間予算の96%は現地での活動に充てられています。約130000人の職員の85%は現地(150以上の国と地域)で勤務し、開発支援と緊急支援の双方に関わっています。現場では、それぞれの国のプログラムを実施し、すべての子どもたちのサポートに当たっています。

世界では国家間の格差、先進国においても国内での格差が増えてきています。ユニセフは「公平性」を支援の軸に、地球上にいるたった一人の子どもも取り残すことなく、災害・貧困・差別・紛争などの影響を受けている子どもたちに支援を届けていますが、貧困の連鎖を断ち切るためにも「公平性」が重要です。

そして、活動に欠かせないのがNGO・企業などさまざまなパートナーです。現場で働くユニセフの職員は、最も弱い立場に置かれた子どもたちを守る親や将来の社会を担う子どもたちの声を聞くこともあれば、政府の人と話すこともあり、幅広いパートナーと共に活動しています。

子どもたちが直面する問題をテクノロジーで解決するイノベーションの開発はより大きな成果が期待されます。





グループに分かれて話し合う参加者たち

# WORKSHOP

## 2

どんな社会になってほしいか  
子どもたちにどうなってほしいか  
そのために自分たちに何ができるか  
二人の若者のエッセイをもとにして  
グループで語り合いました。

\*ユニーズの萬谷さんと迫さんが世界平和を目指すようになったきっかけは、それぞれが小学校の頃に読んだ本でした。自分の境遇とは全く違う世界があることを知って、そこにいる人に近づきたいと思ったのです。

グループトークでは、「日本では当たり前前のが世界ではそうではないこと、あふれる情報の中身を見極めること、多様性を認め合うことなどがこれからの教育に求められる」「誰ひとり取り残すことなく、皆が笑顔で安心して生き、夢を持って学べる社会になってほしい」「これからの子どもたちには、視野を広げ、自分とは違う人や文化を理解し尊重してほしい」などのさまざまな意見が交わされました。

自分のやりたいことを自分の言葉でしっかり話し行動に移す。まさに有言実行の若者たちの声を聞き、「微力だが無力ではない自分にできることを探してやっていきたい」という思いが会場に満ちて、わくわくカフェの時間は終わりました。

\*ユニーズ

兵庫県ユニセフ協会学生ボランティアグループ

### 平和な世界を夢見て 小さな平和を積み重ねる

私には世界を平和にするという夢があります。世界を平和にするためには、小さな平和の積み重ねが必要です。

教育は人々が自分の力で問題を解決し、世代を超えた貧困を終わらせることにつながります。私は16歳で行ったタンザニアでの教育ボランティア活動を通して、楽しく学ぶことが小さな平和につながっていることを確信しました。

また、自分の弱みが子どもの気持ちを理解することに生かせること、年齢が近いことで同じ目線で接することができお互いに信頼し合えたことに気づきました。そして「今の自分だからこそできること」は国や文化を超えて活かすことができると思いました。

私をもっと多くの子どもたちに、学ぶことの楽しさを感じてもらえる授業ができるように、教育を学び、またアフリカに戻りたいです。皆さんも「今の自分だからこそできること」を途上国の子どもたちに届けて、みんなで小さな平和を作っていきませんか？

まんたに みさと  
萬谷 美里さん

2017年夏、官民協力海外留学支援制度「トビタテ留学 JAPAN」の支援を受け、7週間タンザニアへ。マサイ村の小学生に勉強を教えた。

### 誰ひとり見捨てない社会を 実現するために

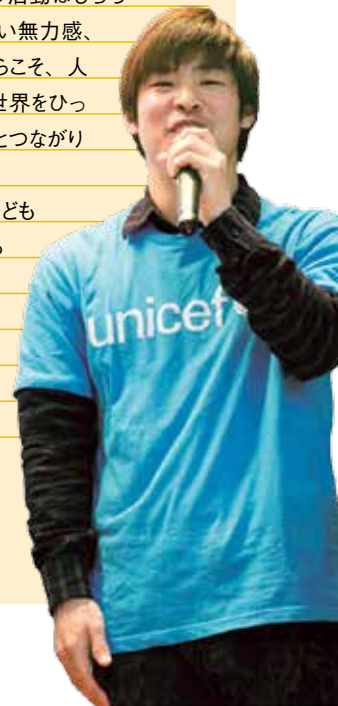
私は小学校3年生の時に、今も変わらぬ夢ができました。「全ての子どもたちが愛され、自分を好きでいられる社会」。これが私にとっての世界平和の第一歩です。

私は、居場所づくりの活動を通して、ここ日本で、愛が行き届かない子どもたちに何十人も会ってきました。私の活動はもちろん失敗することもあります。そのたびに、ひどい無力感、絶望感にかられます。でも一人じゃできないからこそ、人は手をつなぎ助け合う。「いつか必ず一緒に世界をひっくり返そう」と私は声をかけ、その子たち全員とつながり続けます。

ここ日本で、世界で、生きづらさに苦しむ子どもたちに伝えたい。あなたが生きづらいのは、あなたが悪い子だからじゃない。生きづらさの原因はきっと社会の側にもある。誰ひとり見捨てない社会を、世界を実現するために、私たちに何ができるのか、同じ未来を願う一つの家族として一緒に考え闘い抜きましょう。

さこ ゆうた  
迫 裕太さん

学生団体「SMILE」の代表を務め、いじめや不登校など生きづらさを抱える子どもたちを支援する活動をしてきた。4月からは社会人。





# BOOTH

## 3

### 出展ブース紹介

▼ 総合司会の福井沙織さん



#### 神戸 YJB

「神戸ヤングじいばの会」。児童館を中心に遊びの体験活動で子どもたちと交流をしている。バルーンアートは子どもたちに大人気。



#### トゥマイニ・ニュンバーニ

ケニアの HIV 陽性者のお母さんたちの自立支援やエイズによって親を亡くした子どもたちへの教育支援をしている。



#### ソルト学生支部

フィリピンのごみ山周辺のスラムに暮らす子どもや女性へ、教育・職業・医療支援などを行っている同志社大学の学生団体。



#### 学生団体 SMILE

「全ての人に『イキテル』を」という理念のもとに、全ての若者が安心して輝ける居場所ある社会のために活動している。



#### ユニセフコーナー

蚊帳など支援物資を展示。魚つりゲームやクイズで遊びながらユニセフの活動を学習。寄せ書きには参加者皆さんの思いを。



#### ネパール虹の家

ネパール大地震の被災地で、親を亡くした子どもたちへの教育やコミュニティーづくり、女性の自立を支援している。



#### 明石高専防災団 D-PRO135

防災士の資格を取得した生徒の防災団。防災について楽しく学べる防災ゲームの制作や、さまざまな防災活動に取り組んでいる。



#### アマニ・ヤ・アフリカ

「ケニアの子どもたちに笑顔」。教育・経済的自立支援、文化交流を通して、共に生き、共に成長し合える活動をしている。

[amani-ya.com/](http://amani-ya.com/)



#### studio127

クロマチックハーモニカの竹内さんも参加している障害者支援グループ。作業所と販売店などをつなぐ「こころのとびら」を展開。



#### やんだくない

「嫌ではないよ」という気持ちをチーム名にし、できることで役立ちたいと東北の商品を販売し、被災地を支援している。



#### 笑顔つながろう会

福島原発事故の影響で京都に避難しているママたちの会。茶話会や手作り品の製作・販売で被災者応援をしている。

[egaotunagu.exblog.jp/](http://egaotunagu.exblog.jp/)



#### jam tun

始まりはアフリカのゴミ問題。飲料水のビニール袋やはぎれ布を使ったカバン作りは、住民の雇用と収入にもつながっている。

[ja-jp.facebook.com/jamtun.africa/](https://ja-jp.facebook.com/jamtun.africa/)



#### ルワンダの教育を考える会

ルワンダの平和に寄与することを目的に設立。内戦で心身ともに傷ついた子どもたちにさまざまな教育支援をしている。

[www.rwanda-npo.org/](http://www.rwanda-npo.org/)



#### CHA

カンボジアの地雷被害やポリオによる女性障がい者が洋裁技術を習得し、社会復帰できるように支援している。

[thana0417.wixsite.com/chajapan](http://thana0417.wixsite.com/chajapan)



#### Future Code 学生BYCS

「世界中の医療に未来への鍵を」。ハイチ、バングラディッシュなど災害・貧困地域で医療・教育などを支援している。

[www.future-code.org/](http://www.future-code.org/)



#### 賀川記念館

賀川豊彦とその仲間たちによる働きと志を引き継ぐ地域福祉コミュニティーセンター。岩手県宮古支援物資を販売している。

[core100.net/](http://core100.net/)



◀ 神戸大学附属中等教育学校コーラス部の皆さん  
▼ クロマチックハーモニカ演奏の竹内海人さん



### パフォーマンス

## 4

# PERFORMANCE

1

ユニセフ写真展  
「アフリカに必要なもの」  
～アグネス・チャン大使が見たナイジェリア～

期 間 1月20日(土)～28日(日)  
会 場 コープこうべ生活文化センター1階展示場



©日本ユニセフ協会/2013/M.Miura  
地元出身の青年が建てた学校

石油資源に恵まれ高い経済成長を続けながらも、5歳未満児の死亡率は高く、世界でわずか3カ国となった「ポリオ蔓延国」のナイジェリア。アフリカの多くの国が抱える格差問題も深刻化しています。スラムの子どもたちが置かれている状況や格差の広がる現状の写真からアフリカの問題が伝わってきました。

2

2018 ユニセフカップ  
神戸バレンタイン・ラブラン  
芦屋さくらファンラン

日時 / 会場 2月11日(日) / 神戸ポートアイランド市民広場  
4月8日(日) / 芦屋中央公園



ユニセフの活動を支援する2つのマラソン大会が今年も開催され、参加料の一部を寄付していただきました。ユニセフのブースでは、支援物資の展示やパンの販売、募金活動などをしました。

3

神戸国際交流フェア 2018 に出展

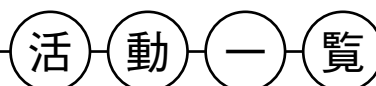
日 時 3月11日(日)  
会 場 ハーバーランド・スペースシアター (神戸市中央区)

今年も国際交流フェアに参加。支援物資の展示をし、蝶型地雷のレプリカを手にした子ども連れ参加者からは「これ、地雷？」と驚きの声が上がっていました。また、クイズラリーでは、たくさんの人にユニセフの話をする事ができました。



Activities File  
活動ファイル

兵庫県ユニセフ協会の活動履歴  
2017年12月～2018年4月



Activities List

学習会訪問一覽

月日	訪問先	対象	人数
1月15日	姫路市立香寺中学校	中学2年生	170
1月30日	三田市立狭間中学校	中学1年生	129
2月7日	秋葉台児童館	小学1～6年生	35
2月15日	姫路市立香呂小学校	小学6年生	70
2月18日	ボーイスカウト神戸第2団	5歳～小学生・大人	18
2月23日	愛徳幼稚園	3～5歳	235
2月26日	姫路市立妻鹿小学校	小学6年生	27
2月26日	姫路市立中寺小学校	小学6年生	73
3月15日	神戸市立井吹台中学校	中学2年生	380
4月8日	ボーイスカウト姫路第16団、第18団	小学1～5年生・大人	50
4月11日	大阪なかのしまワイズメンズクラブ	大人	19

地域活動一覽

\*ユニセフ紹介と支援物資の展示

月日	イベント名
1月27日	ブルキナファソ報告会
1月20日～28日	ユニセフ写真展「アフリカに必要なもの」～アグネス・チャン大使が見たナイジェリア～
2月10日	川崎哲さん講演会「核兵器禁止条約を考へる～今、私たちにできることは～」
2月11日	2018ユニセフカップ神戸バレンタイン・ラブラン *
2月25日	コープファミリーフェスタ *
3月3日	コープこうべ第4地区平和のつどい *
3月10日	祭inすみよし *
3月11日	神戸国際交流フェア2018 *
3月17日	第16回ユニセフのつどい *
4月8日	2018 ユニセフカップ 芦屋さくらファンラン *
4月21日	2018国際理解講座①

募金していただいた学校・団体 (2017年11月～2018年2月)

兵庫県ユニセフ協会を通して募金いただいた学校・団体のお名前を記載しています。(敬称略、順不同)

姫路市医師会看護専門学校、日本ハム(株)CC推進部、(株)産業経済新聞社、ガールスカウト兵庫県第25団、全但バス(株)、いなみ野学園大学自治会福祉保健委員会、宝塚ボランティアセンター、ガールスカウト兵庫県第11団、(株)甲南エステート、共栄火災海上保険(株)神戸支店、生活文化センター茶道教室、A-Bridge Cup実行委員会、兵庫県立大学附属中学校生徒会、育英高等学校、一粒園認定こども園 職員・保護者一同、泉台小学校、港島自治連合協議会、ボーイスカウト神戸第2団、啓明学院 外貨募金:西宮ホワイトライオンズ

ご協力ありがとうございました。



6

## ノーベル平和賞受賞 ICAN 国際運営委員 川崎哲さん講演会 核兵器禁止条約を考える ～今、私たちにできることは～

講師 かわさきあきら  
川崎哲さん  
(核兵器廃絶国際キャンペーン国際運営委員、ピースポート共同代表)

日時 2月10日(土)

会場 コープこうべ生活文化センター

主催 兵庫県ユニセフ協会

後援 ピースプラットホーム、生活協同組合コープこうべ

参加者 330人



昨年7月に国連で核兵器禁止条約が採択され、そこで「主導的役割を果たした」として核兵器廃絶国際キャンペーン(ICAN)は2017年ノーベル平和賞を受賞しました。

ICANは反核活動をしている団体の連合体で、2007年オーストラリアで発足、スイスに本部を置いています。ICANには現在101カ国468団体が参加し、執行部は代表の10団体で構成され、日本のピースポートがそのメンバーであることから、ピースポート共同代表である川崎さんが国際運営委員を務めておられます。

今回、国連で採択された核兵器禁止条約は核廃絶に向けての道筋で、「いかなる核兵器の使用も国際人道法に違反する」と表記しています。広島・長崎への原爆投下から70年以上を経て、初めて核兵器を禁止する条約がまとまりました。

日本の被爆者、旧ロシアの核実験による被爆者などもこの運動に参画しており、核兵器なき世界に向けた将来世代の夢に応えるものです。現在56カ国が署名していますが、残念ながら、核保有国と日本を含むその同盟国の多くは条約への署名を行うと言っていません。

川崎さんは、中学生の息子さんの「クラスの中で核兵器禁止条約を知っているのは数人だよ」という言葉を例に挙げ、「全国で、核兵器禁止条約が国連で採択されたという認識が広まれば、大きな変化、力を生み出していくでしょう。私たちが日本でできることは、世論を創っていくことです」と話されました。

4

## 2017 第5回国際理解講座 「世界を変えるという仕事」 カンボジアで国際協力師になる道を選んで

講師 のぶおか ゆうき  
延岡由規さん  
(認定NPO法人テラ・ルネッサンス海外事業部アジア事業担当)

日時 2017年12月16日(土)

会場 コープこうべ生活文化センター

参加者 43人



延岡さんは大学生の時からテラ・ルネッサンス\*の活動に関わり、2017年4月に職員となりました。現在携わっているカンボジアでの支援内容は、現地の地雷除去団体への資金や資機材の提供、地雷埋設地域にある村落の開発支援、地雷による障がい者支援などです。収入源をバイオエタノール原料のキャッサバなど単一換金作物栽培に依存している村では、買取価格の下落のため収入が減り、不安定な日雇い労働によって現金収入を得るしかありません。これを改善するため、家庭菜園や家畜銀行、自治会などの多様な取り組みを提案し、村人たちによる持続的な運営を目指しています。また、延岡さんが力を入れたい分野でもある、子どもたちの基礎教育支援も行っています。

延岡さんの考える理想の社会のキーワードは、「笑顔」と「つながり」。支援を実施する人、支援対象になる人、活動をサポートする人の全員が、世界を変えるパートナーとして連携し共に成長して変革を連鎖させていこうと、参加者に呼びかけました。

\*認定NPO法人テラ・ルネッサンス

ウガンダ、コンゴ(民)、ブルンジ、カンボジア、ラオス、日本において、「地雷」「小型武器」「子ども兵」「平和教育」という課題に取り組み、岩手県では大槌復興刺し子プロジェクトを行っている。

5

## カレンダー 募金

2～3月にかけて、文具専門店伊東屋からいただいたカレンダーを「カレンダー募金」として格安で提供しました。募金額の65,550円は全額ユニセフ募金とさせていただきます。ご協力ありがとうございました。



## ユニセフ募金 Donations For Unicef

### ■ 通常募金

通信欄記載事項	振替口座	手数料
K1-280 兵庫	00190-5-31000	免除

### ■ 緊急・復興募金

	通信欄記載事項	振替口座
ロヒンギャ難民	ロヒンギャ K1-280 兵庫	00190-5-31000
シリア	シリア K1-280 兵庫	00190-5-31000
アフリカ干ばつ	アフリカ K1-280 兵庫	00190-5-31000
自然災害	自然災害 K1-280 兵庫	00190-5-31000
人道危機	人道危機 K1-280 兵庫	00190-5-31000

\*共通口座名義：公益財団法人 日本ユニセフ協会  
\*手数料免除

### Volunteer

## あなたもボランティア!

### ボランティア募集中

「できる人が できる時に できることを」  
をモットーに子どもたちのための活動  
をしています。一緒にボランティアしませ  
んか。お気軽にご連絡ください。

# Wish<sup>vol.55</sup>

ユニセフ兵庫ニュース Wish

2018年(平成30年)5月発行

発行：兵庫県ユニセフ協会

住所：〒658-0081

神戸市東灘区田中町 5-3-18

コープこうべ生活文化センター 4F

電話：078-435-1605 (平日 10:00 ~ 16:00)

FAX：078-451-9830

●最新の情報はホームページで

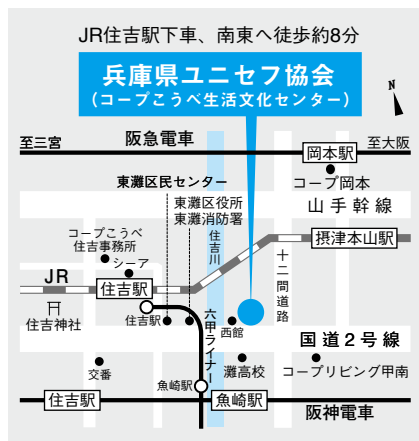
<http://www.office-bit.com/unicef-hyogo/>

兵庫 ユニセフ

検索



●兵庫県ユニセフ協会への案内図



## Join Us 主催イベント

詳細は HP をご覧ください。

## 2018年 ユニセフ イベント・講座のご案内

どなたでもご参加いただけます。

参加費  
無料

日時	テーマ・講師
4月21日(土) (終了)	■ 国際理解講座① 講師：今井紀明さん(認定NPO法人D×P理事長)
6月17日(日) 13:00 ~ 15:00	■ 国際理解講座② 「出会いがつかぐ子どもの未来」 講師：永遠瑠マリールイズさん(NPO法人ルワンダの教育を考える会理事長)
6月28日(木) ~ 7月6日(金)	■ ユニセフ・パネル展「アグネス大使 シリア周辺国訪問」 シリア難民の子どもたちを「失われた世代」にしないために
6月30日(土) 13:30 ~ 15:30	■ 国際理解講座③「映像と写真で見るイスラム国(IS)後、混迷するイラク・シリアの人びとは今」 講師：玉本英子さん(アジアプレス所属)
8月5日(日) 10:30 ~ 12:30	■ ユニセフ「水の教室」 場所：国営明石海峡公園神戸地区 あいな里山公園
10月6日(土)	■ 国際理解講座④「地球のステージ」 講師：桑山紀彦さん(医師・NPO法人地球のステージ代表理事)
12月8日(土)	■ 国際理解講座⑤ 講師：甲斐信好さん(拓殖大学国際学部教授) 大津司郎さん(ジャーナリスト)
12月23日(日・祝)	■ ユニセフ ハンド・イン・ハンド 会場(予定)：姫路、元町、三宮、住吉、西宮北口など 一人ひとりの力が大きな力となる募金活動、世界の子どもたちへ笑顔を届けましょう!

※国際理解講座②はコープテイズ豊岡で、③④は生活文化センター、⑤は未定です。

※国際理解講座④は公益信託兵庫県婦人会館ユネスコ基金の助成を受け行います。

お申込み、お問い合わせ先

事務局 078-435-1605

## News お知らせ

### 神戸まつりパレードに参加

日時 5月20日(日)  
会場 フラワーロード~三宮中央通り

### 福島子ども保養プロジェクト in よしまキャンプ

日程 7月27日(金)~7月31日(火)  
会場 神戸YMCA 余島野外活動センター  
(香川県小豆島)

### 川崎塾 (全8回)

日時 ① 7月29日(日) ② 8月25日(土)  
①② 13:30~15:30  
講師 ①川崎哲さん  
(核兵器廃絶国際キャンペーン(ICAN)  
国際運営委員)  
②スティーブ・リーパーさん  
(前広島平和文化センター 理事長)  
会場 ①②コープこうべ生活文化センター  
定員 ①② 100人  
入場無料、要申込み  
問い合わせ、申込みは兵庫県ユニセフ協会まで

## Booth 出展参加

### 夏まつり住吉キッズ

日時 7月28日(土)13:00~19:30(予定)  
会場 コープこうべ生活文化センター

### ひょうごまるごと健康チャレンジ

日時 9月22日(土)  
会場 コープこうべ協同学苑(三木市)

## ユニセフ出前学習会

学習会の講師派遣を行っています。  
お気軽にお問い合わせください。

**ユニセフ  
ひょうご  
サポーター**

賛助会員募集中  
賛助会員となって、兵庫県ユニセフ協会の活動を  
支えてください。お申し込み、お問い合わせは事務局  
までお願いいたします。

入会申込書